

## 学生の学修状況調査の集計結果について

2019年度から実施している内容で、本学（武蔵丘短期大学）学生の学修状況等を把握し、教育の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、「平均的な1週間の行動パターン」について、調査を実施した。対象は、「自己表現とキャリア」（1年生）及び「健康管理論」（2年生）の履修者とし、時期は2023年6月下旬～7月上旬の授業時間内に、健康教育・時間管理指導の一環も兼ねて行った。

有効回答数は、1年生が49名、2年生が49名であった。したがって、全学生（1年生95名、2年生139名（留年・休学者除く））に対する回答率は、1年生が51.6%、2年生が35.3%となる。

この調査から「1週間あたりの授業時間」「1週間あたりの授業外学習時間」「1週間あたりのアルバイト時間」「1日あたりの睡眠時間」「1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・YouTubeなど）時間」について、集計した結果は次の通りである。

「1週間あたりの授業時間」については、1年生は「16～21時間」が43%、「21～26時間」が41%と多くなり、昨年度より授業時間数は減少した。時間割を変更した影響が考えられる。2年生は「16～21時間」が33%と最も多く、平均的な履修時間が多い。今年度は、16時間より少ない学生が増加している。

「1週間あたりの授業外学習」については、1年生は「1時間未満」が33%、「1～2時間台」が18%、「3～5時間台」が23%と、授業外学習時間が少ない現状があり、昨年度調査から変化も見られず、学習習慣に課題があることがわかる。2年生についても、全体的に時間数が少ない。3時間未満として合わせると66%となり、昨年度の76%よりも減少し改善傾向にあるものの、学習の習慣化についても課題がある。

「アルバイト時間」については、少ないものの両学年とも1週間あたり「29時間以上」の学生がいる。学習時間に影響を与える可能性が伺える。

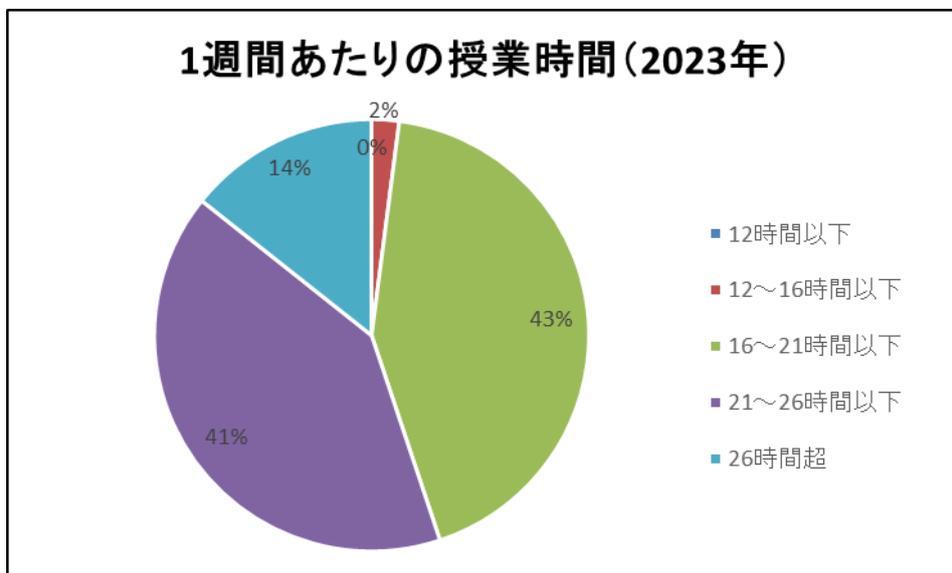
「1日あたりの睡眠時間」については、1年生は「6～7時間未満」が37%で最も多く、2年生では「5～6時間未満」「6～7時間未満」が同率で33%となった。後述のスマホ等使用時間が影響していると考えられる。

「1日あたりのスマホ等使用時間」について、「6時間以上」が、1年生で3%、2年生では16%であった。このスマホ等使用については、生活習慣の乱れや睡眠不足など学習も含めた学生生活へ悪影響を及ぼす恐れがある。一方、教育・文化・スポーツ等健康に関する情報や進路情報など、学生のキャリア形成にとって役立つ内容も充実している。自己管理のもと、有効に活用することを期待したい。

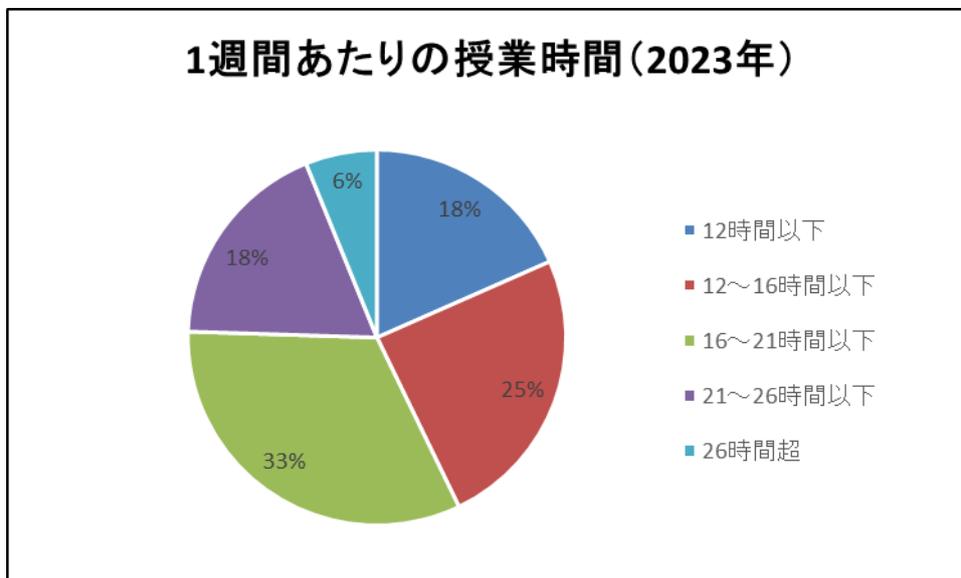
（文責・岡崎英規）

## 【1週間あたりの授業時間】

1年生

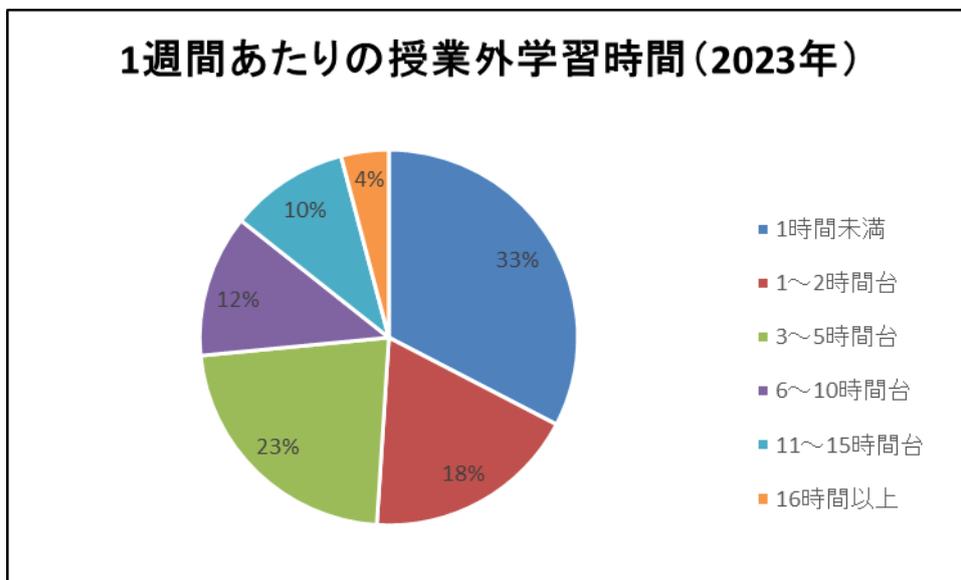


2年生

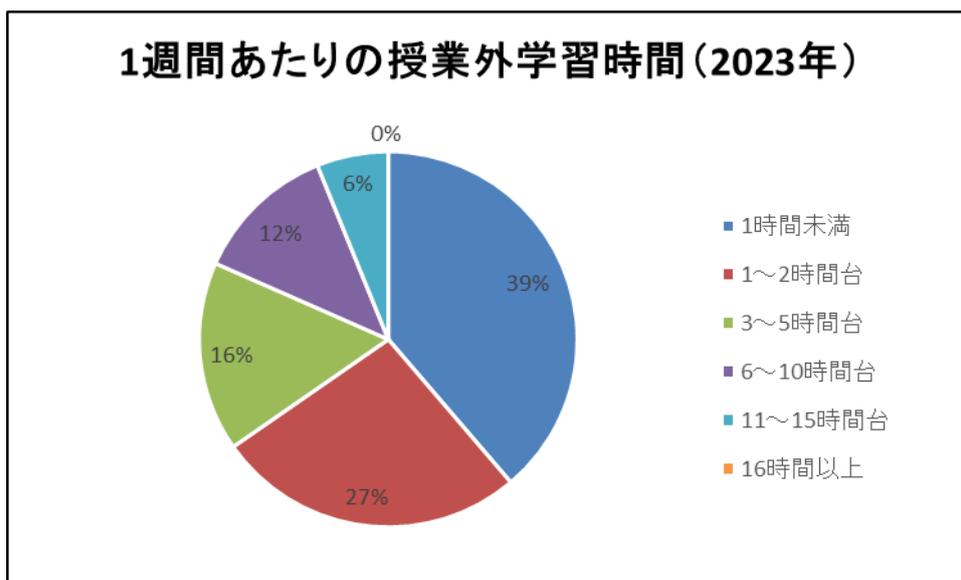


【1週間あたりの授業外学習時間】

1年生

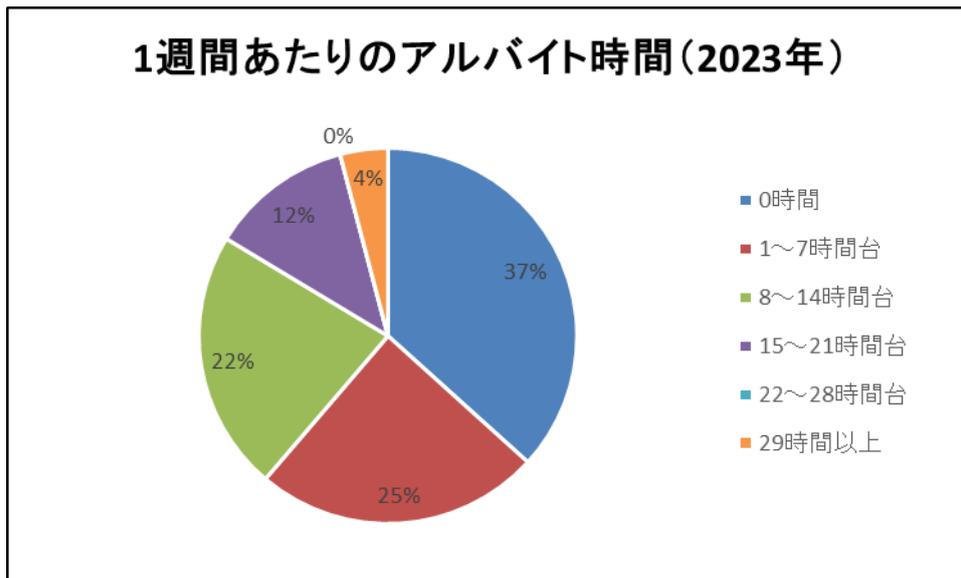


2年生

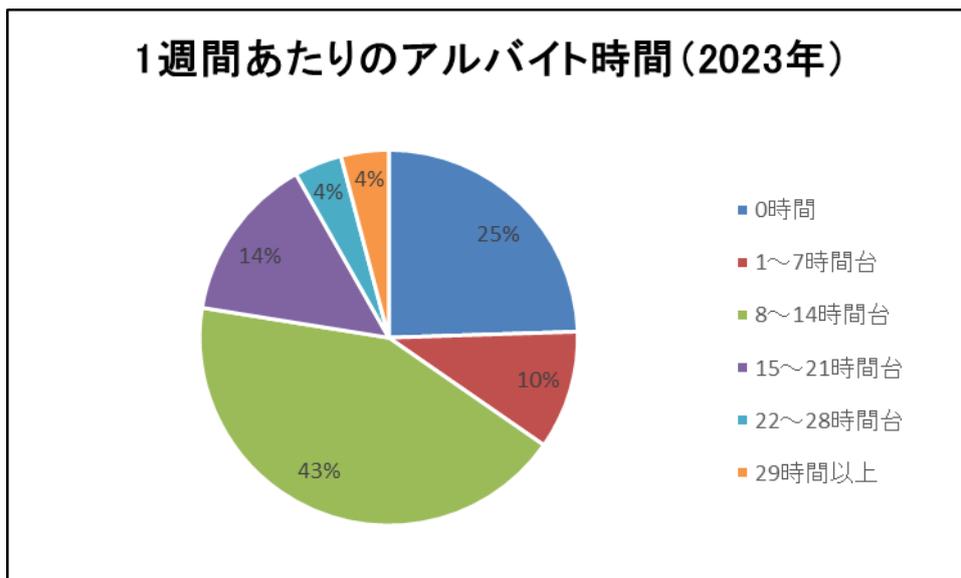


【1週間あたりのアルバイト時間】

1年生

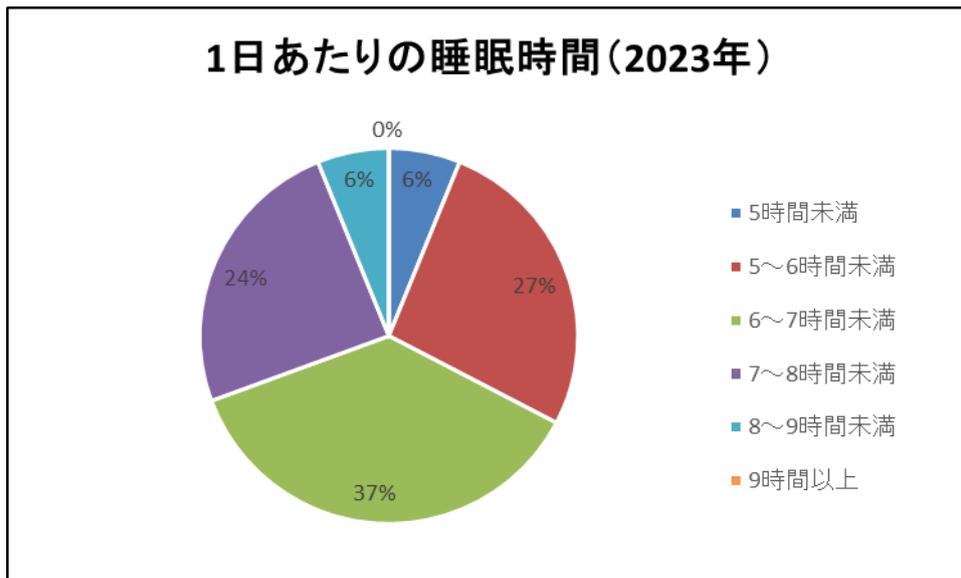


2年生

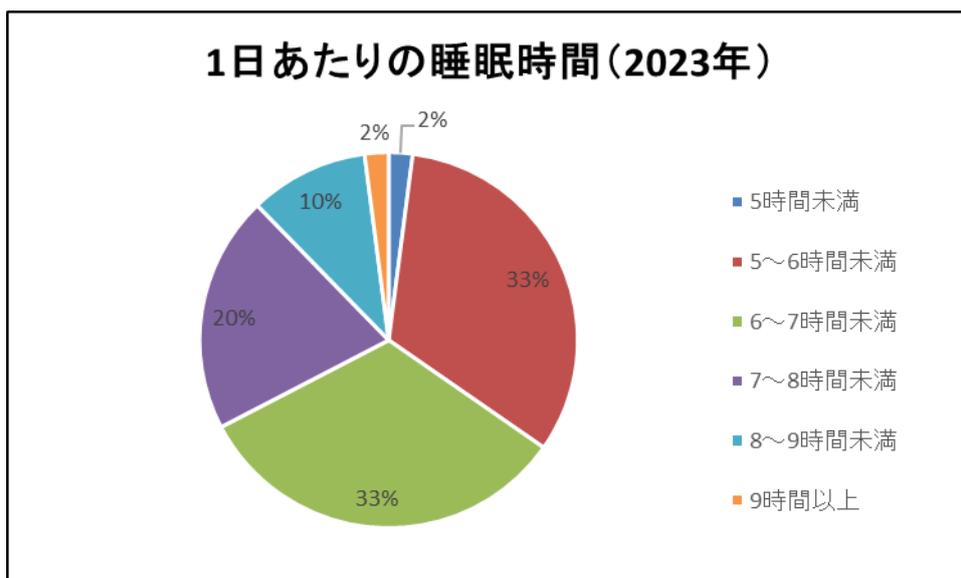


【1日あたりの睡眠時間】

1年生

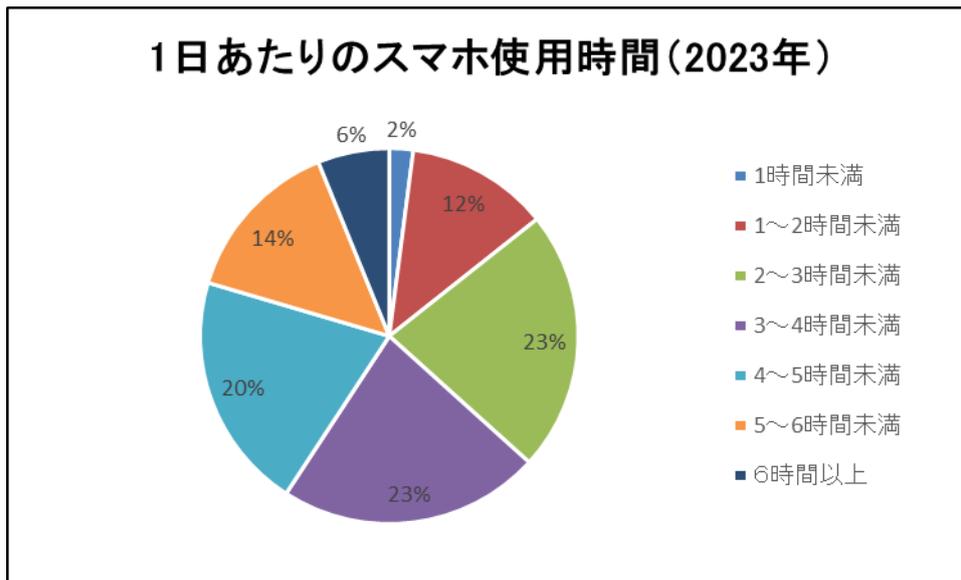


2年生



【1日あたりのスマホ等使用（インターネット・SNS・You tube 含む）時間】

1年生



2年生

